今般、茨城労働局の関係労働者を代表する者吉川輝夫の辞任の申し出に伴い、労働保険審査官及び労働保険審査会法（昭和31年法律第126号）第５条及び同法施行令（昭和31年政令第248号）第２条第２項の規定に基づき、補欠の関係労働者を代表する者を指名したいので、資格ある労働者団体は、下記により関係労働者を代表する者の候補者を推薦されたい。

平成23年１月24日

厚生労働大臣　細川　律夫

記

１　推薦資格　雇用保険の被保険者が加入している労働者団体であって、茨城労働局の管轄区域内に組織を有するものであること。

２　推薦手続　推薦に当たっては、別紙様式の推薦書の正本及び副本に履歴書２部を添付して提出すること。

３　推薦締切日　平成23年２月９日

４　推薦書及び添付書類の提出場所　茨城労働局職業安定部職業安定課

様式

平成　　年　　月　　日

厚生労働大臣　殿

団体名及びその代表者名

印

労働保険審査官及び労働保険審査会法第５条の規定に基づく関係労働者を代表する者の候補者として、下記の者を推薦します。

| 氏　名 | 年齢 | 所属団体名及び当該所属団体における地位 | 略歴 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

㈱１　所属団体名及び当該所属団体における地位の欄には、被推薦者の所属する団体及び当該所属団体における地位（２以上ある場合は、その全部を列挙する。）を記入すること。

２　略歴の欄には、被推薦者の所属し、又は所属していた団体における略歴を記入すること。

## 統　　計

### 平成22年11月中国際収支状況（速報）

財　務　省

（単位：億円、％）

| 項　　目 | 11　月 | 前　月 | 前年同月 |
|---|---|---|---|
| 貿易・サービス収支 | 1,604 | 6,384 | 4,404 |
| （対前年同月比） | （−63.6） | （4.4） | （—） |
| 貿易収支 | 2,597 | 9,129 | 4,863 |
| （対前年同月比） | （−46.6） | （−2.6） | （—） |
| 輸出 | 51,459 | 54,143 | 47,078 |
| （対前年同月比） | （9.3） | （8.8） | （−6.9） |
| 輸入 | 48,862 | 45,014 | 42,215 |
| （対前年同月比） | （15.7） | （11.5） | （−18.0） |
| サービス収支 | −993 | −2,745 | −459 |
| 所得収支 | 8,229 | 8,832 | 7,283 |
| 経常移転収支 | −571 | −854 | −694 |
| 経常収支 | 9,262 | 14,362 | 10,993 |
| （対前年同月比） | （−15.7） | （2.9） | （76.3） |
| 投資収支 | −4,876 | −4,160 | −9,860 |
| 直接投資 | −5,308 | −8,492 | −4,655 |
| 証券投資 | 12,379 | 37,498 | −29,865 |
| （証券貸借取引を除く） | （10,266） | （−9,302） | （−35,275） |
| 金融派生商品 | 2,042 | 3,092 | 2,760 |
| その他投資 | −13,989 | −36,257 | 21,900 |
| （証券貸借取引を除く） | （−11,880） | （10,545） | （27,310） |
| その他資本収支 | −312 | −273 | −562 |
| 資本収支 | −5,187 | −4,433 | −10,423 |
| 外貨準備増（−）減 | −2,552 | −2,669 | −2,404 |
| 誤差脱漏 | −1,522 | −7,259 | 1,834 |

（備考）　①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。

②　資本収支及び外貨準備増減の（−）は資本の流出（資産の増加、負債の減少）を示す。

### 平成22年７～９月中国際収支状況（確報）

財　務　省

（単位：億円、％）

| 項　　目 | 7　月 | 8　月 | 9　月 | 7 ～ 9 月 |
|---|---|---|---|---|
| 貿易・サービス収支 | 7,479 | 937 | 8,616 | 17,032 |
| （対前年同月〈期〉比） | （393.7） | （−51.2） | （50.7） | （86.0） |
| 貿易収支 | 8,971 | 1,706 | 9,110 | 19,787 |
| （対前年同月〈期〉比） | （105.7） | （−43.5） | （50.6） | （47.3） |
| 輸出 | 56,584 | 49,094 | 55,391 | 161,068 |
| （対前年同月〈期〉比） | （24.6） | （16.0） | （15.7） | （18.8） |
| 輸入 | 47,612 | 47,388 | 46,281 | 141,281 |
| （対前年同月〈期〉比） | （16.0） | （20.6） | （10.7） | （15.6） |
| サービス収支 | −1,493 | −768 | −495 | −2,755 |
| 所得収支 | 10,558 | 11,450 | 12,346 | 34,355 |
| 経常移転収支 | −850 | −959 | −787 | −2,596 |
| 経常収支 | 17,187 | 11,429 | 20,175 | 48,791 |
| （対前年同月〈期〉比） | （29.3） | （−3.4） | （28.0） | （19.3） |
| 投資収支 | −20,845 | −12,322 | −1,821 | −34,987 |
| 直接投資 | 281 | −4,643 | −4,299 | −8,661 |
| 証券投資 | 3,595 | −46,274 | −41,902 | −84,580 |
| （証券貸借取引を除く） | （−28,390） | （−52,362） | （5,191） | （−75,561） |
| 金融派生商品 | 2,243 | 2,306 | −2,088 | 2,461 |
| その他投資 | −26,964 | 36,289 | 46,467 | 55,792 |
| （証券貸借取引を除く） | （5,014） | （42,378） | （−626） | （46,767） |
| その他資本収支 | −551 | −401 | −692 | −1,643 |
| 資本収支 | −21,396 | −12,722 | −2,513 | −36,631 |
| 外貨準備増（−）減 | −1,038 | −2,794 | −21,187 | −25,019 |
| 誤差脱漏 | 5,246 | 4,087 | 3,525 | 12,859 |

（備考）　①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。

②　資本収支及び外貨準備増減の（−）は資本の流出（資産の増加、負債の減少）を示す。